



編集発行 第25号
群馬県立桐生工業高等学校
桐生市西久方町1-1-41
TEL (0277) 22-7141
FAX (0277) 46-4703
同窓会事務局 編集部
印刷 株式会社大間々印刷

会長挨拶

同窓会と学校の
一体感に感謝

会長 蛭間謙次



同窓会員の皆様には益々ご健勝にてお過ごしのことと推察申し上げます。

暑日が続き、8月は殆ど降雨がなく大地は乾ききつていました。新聞等の報道によりますと、今年も熱中症で多くの方が病院へ搬送されたことを見聞きし、地球温暖化が一層進んでいるように感じられています。しかし、秋も深まり会員の皆様には体調も回復され、益々ご清栄の事でしょう。また、同窓会員の皆様には桐生同窓会の発展のために、ご理解、ご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

すでにご案内の通り同窓会の目的は会則第二条に会員相互の親睦と母校との連携を保ち、母校の教育振興に寄与することにあります。会員皆様には、この目的達成のためより一層の「ご協力」をお願い申し上げます。

さて、過日の同窓会の席におきまして生徒達の研究活動を「その成果と課題」と題しまして、担当の先生方より発表していただきました。この発表を通して同窓会と学校が今まで以上に深い関係構築一体となつてきているのが強く感じられました。このような発表は総会始まって以来の事でありました。学校の深い配慮に感謝いたしますと共に、今後も継続していただきたいと思います。

今年も恒例の親善ゴルフ大会が、8月25日(日)に桐生カントリークラブで開催され173名の参加をいただきました。天候は曇天でしたが、気温は23度位で、この季節にしては最高のゴルフ日和ではなかったでしょうか。今年も桐生の教職員をはじめ、他県からも大勢の方に参加していただきました。最近にない盛り上がりを見せ、心から感謝申し上げます。各支部の役員・実行委員の方々と、事務局員の綿密な資料作成で開始され、滞ることなく全員が予定通りクラブハウスに帰還いたしました。体調を崩す方も居らず、表彰式を迎え乾杯の御発声は大澤幸一様にいただき、成績発表・表彰と続き個人戦の優勝は伊藤久夫様で団体の優勝は第16支部でした。来

校長挨拶

同窓会報の
発行によせて

校長 樋口高則



同窓会員の皆様には日頃より母校の教育活動に対してご理解・ご協力をいただき誠にありがとうございます。

来年度で80周年を迎える歴史と伝統を持った本校であり、同窓会報も四半世紀の「桐生第25号」の発行となつたことを心からお慶び申し上げます。

さて、本校では同窓会長様はじめ多くの同窓会員の皆様のご理解を得て、数年前から桐雷助成金をいただいておりますが、本年度はその成果について3名の職員が同窓会総会において昨年度の研究について発表させていただきました。一つは昨年活躍した関東大会を勝ち抜き全国大会に出場し、NHKの『ほっと群馬』でも取り上

げてもらった機械科の相撲ロボットの、もう一つは環境教育に力を入れ地元中学校へ出前授業をし、群馬銀行の環境教育奨励賞をもらった電気科の研究、そして材料を購入し、桐生市内の買場紗綾市に出品した染織デザイン科の作品についてです。いずれも、職員と生徒が連携しながら素晴らしい成果を出してくれたもので本校全体をリードする研究となりました。助成金があつてこそ出来た研究であり、大変感謝しております。本年度の研究も昨年度に引けを取らない研究となるよう頑張っているところです。

今年、同窓会の主行事の一つである第22回桐生同窓会ゴルフコンペに参加をさせてもらいました。180名もの参加者があり、そのみなさんの活刺とした笑顔とパワーに圧倒されました。現役の職員数名と共に仲間に入れていただきありがとうございます。大変楽しい時間を過ごす事が出来ました。

また、春にお世話になつた関西支部のみなさんが創立20周年を記念し、母校訪問を計画されているとお聞きしています。桐生同窓会は、多くの方がさまざまな形で活発に活動されており、すばらしい同窓生に正に敬意を表します。

そして昨年もまた、214名の生徒達が桐生を巣立ち、2万人を越す同窓生の仲間入りをしました。卒業生がやがて立派な社会人として日本全国で活躍してくれる事を祈っています。卒業していく

開校記念講演

生徒達に、「困ったときは桐生の同窓生を頼りなさい。きつと力を貸してくれます。」と話をしています。どうか毎年卒業していく社会人1年生を暖かく見守り、支えていただきたいと思います。皆様のおますますのご健康とご活躍を祈念致します。

本年度の開校記念式典は、本校染織デザイン科卒業生で女性ポーカーユニット「M」のメンバー、最近ソコ歌手としても活躍している夏川陽子さんをお願い致しました。

今回は、初の全・定合同の生徒約630人に「夢叶うと信じて」と題して、ご講演頂きました。

夏川さんは歌手の夢を叶えようとした高校時代、2年間の社会人生活、そして上京し、芸能専門学校に入学。モデルから役者、念願の歌手になるまでの経緯を語り「高校の3年間で大切にし、真剣に打ち込めることを見つけ、将来に繋げてくたさい」と熱い「うと信じて」メールを送りました。この後、ミニライブを開いて歌を披露すると後輩たちから盛んな拍手を受けていました。



講師 夏川 陽子 先生

総会

● 期日 平成25年6月22日(土) ● 会場 桐生市市民文化会館 4階スカイホール

今年77名の会員の方々に出席いただき、総会が開催されました。平成24年度事業報告、会計報告、監査報告、支部活動状況報告、平成25年度事業計画案、予算案、役員変更案を了承。役員変更では、第7支部長に大平文男氏43歳、中部支部長に山口禎也氏35歳を承認。加藤鉄工支部(遠山忠一支部長41歳)が会員数減により解散した旨の報告もされました。毎年11月開催の支部長会議を今年度から中止とし、総会で各支部より支部活動状況の報告をいただきました。特に県外支部から活発な支部活動状況が報告されました。同窓会表彰者7名に記念品の銀盃が贈呈され、支部特別功労として2名に記念品を贈呈した報告もありました。定時制の軟式野球全国大会出場の応援募金を同窓会役員・各支部にお願いいたしました。久し振りに佐藤富三顧問(17W12・第5代会長・前市商工会議所会頭)に御出席いただきま

平成25年度 群馬県立桐生工業高等学校同窓会



佐藤顧問乾杯

平成25年度 群馬県立桐生工業高等学校同窓会 総会



親善ゴルフ大会

桐生カントリークラブ

8月25日(日)に第22回親善ゴルフ大会が昨年を20名以上も上回る174名の参加を得て、桐生カントリークラブで開催されました。今大会は若い参加者が増えたことが大変印象的でした。今後も若い会員の参加を積極的に呼びかけ、盛り上げたいと思います。大会結果は次の通りです。

- ◆ 団体戦(上位5名、ネット合計) 優勝 第16支部 356・4 準優勝 笠懸支部 359・0 第3位 新里・粕川361・8 ◆ 個人戦(ネット) 優勝 伊藤久夫 68・0 準優勝 柿田卓二 69・4 第3位 小林正夫 69・6 ◆ ベストクロス賞 グランドシニア 氏原宏文 75 シニア 新井理治 79 一般 一場完次 72 ◆ ニアピン賞 新居喜一 飯塚道夫 川田 護 齋藤恒夫 高草木喜一 星田健二 中山晴雄 ◆ ドラゴン賞 Gシニア 山田文夫 蛭間謙次 シニア 氏原宏文(2ホール) 星野鐵夫 武井庄太郎 一般 新居喜一 橋本隆年 岡部利明 阿久津泰弘 黒澤洋明(2ホール)



団体優勝



個人優勝

埼玉県支部

埼玉県支部長 鈴木栄次(34歳)

日帰り交流会

第24回全日本ソフト相撲大会(高校の部)は、桐生から2組が参加し、平成24年11月25日(日)に行田市ものつくり大学で開催されました。埼玉県支部より6名がスタッフと共に応援しましたが、1回戦にて惜敗しました。 ◆ 第21回埼玉県支部総会は、平成25年3月6日(土)熊谷会館第2会議室にて11名の出席を得て、約1時間ほどで終了しました。 ◆ 総会に先立ち、ミニグラウンド・ゴルフ大会が熊谷市の荒川緑地広場で、本部より蛭間会長、百海事務局長の2人、埼玉県支部より9名が参加して熱戦が繰り広げられ、鈴木支部長が優勝しました。その後、市内の徳樹庵で昼食、とても和やかな会でした。

◆ 平成25年度本部定期総会・懇親会は、平成25年6月22日(土)桐生市市民文化会館4階スカイホールで開催され、米山、小宮、鈴木が3名が出席しました。 ◆ 第22回親善ゴルフ大会は、平成25年8月25日(日)桐生カントリークラブで開催され渡辺、伊藤、齋藤、鈴木の4名が参加しました。 ◆ 支部ゴルフ大会は、平成24年11月29日(木)上武ゴルフ場、平成25年6月20日(木)上武ゴルフ場で開催しました。 ◆ 第24回支部長会議は、平成24年11月21日(水)に開催。平成25年度からの支部長会議は中止することとなりました。

中部支部

中部支部長 福本喜一(36歳)

木曾川「鶴飼い」の開催

(8月18日(日)、19日(月)) 「桐生中部だより」の掲載後に実施いたしました木曾川「鶴飼い」について報告します。 ここ数年、毎年のように計画してきました「鶴飼い」行事ですが、台風による木曾川の増水や突風などで毎年中断され、計画倒れに終わってしまいました。待ちに待った今年、晴天に恵まれ一泊二日の日程で実施することができました。 特筆すべきことは、今年から木曾川の鶴匠に初の女性鶴匠が誕生しており、幸運にもこの日の鶴匠が、この鶴匠であったことです。 我々の乗船した船の手の届くほどに鶴飼いの船が接近し、眩しく映る女性の美しさやしなやかな手縄さばき、同時に川面に醸し出す篝火の美しさを感じました。また、鶴飼いの掛け声も男性鶴匠の濁声と違い鶯嬢のような声に思わず楽しみも倍増し、拍手喝采も多く、他船にも負けず劣らず、盛り上がりました。乗船中は夕食弁当を食べながら一杯入っているせいもあり、参加者10人の会員が久しぶりに騒がしく、わずか1〜2時間程度の楽しいひと時でしたが良い思い出を作ることが出来ました。 会員相互の健康問題や昔話にも花を咲かせ和気藹々のうちに下船に至り、ホテルに戻ったあとは恒例のカラオケで一時間半ほど歌いまくり疲れ果てて、入浴後に深い眠りにつきました。

このように切り取っただけでも、アチコチに顔出しして、忙しい日々を過ごしていることが、精神的に健康的に良いようです。遊んではかりではない。本業のランジエリー作りも怠らずに励んでいる。メディアカルエックもしっかりと継続して健康維持に努めている。人生一日一日を大切に、楽しく過ごせることが幸せなことではないでしょうか。

関西支部

関西支部長 園田 茂(26歳)

人生色々楽しめな

▽4月28日(日)、娘の誕生日の日、席が中々取れない人気の天神・繁昌亭で落語を堪能。その後、中之島の夕暮れコンサートで高校生の吹奏楽に心地よく清々しさに余韻を残し、買い物・食事・余り飲めないお酒をちよっぴりいただき娘との楽しいひと時を過ごしました。 ▽5月8日(木)、府会議員後援会のゴルフ同好会の春(地区大会)・秋(寝屋川大会)の幹事8名によるゴルフ会で、9時起きには辛い6時起きも目覚まし時計のお世話にならないほど快調で、新緑も鮮やかな快晴日、心弾ませ滋賀県信楽の朝宮ゴルフコースへ。秋の大会は45組180名と大がかりな大会の会長を仰せつかつており、下見を十分に行い、当日の料理の試食まで準備万端にしたいとの思いから幹事会ゴルフは重要な集いとなっている。

このように切り取っただけでも、アチコチに顔出しして、忙しい日々を過ごしていることが、精神的に健康的に良いようです。遊んではかりではない。本業のランジエリー作りも怠らずに励んでいる。メディアカルエックもしっかりと継続して健康維持に努めている。人生一日一日を大切に、楽しく過ごせることが幸せなことではないでしょうか。

学校だより ②

部活紹介

山岳部

桐工に程近い吾妻山は毎日途切れることのない登山者で賑わっています。山岳部はここを練習の場所と出来るので恵まれた環境にあります。

さて、スポーツクライミングは新しい競技で、最近ではリオ・オリンピックで採用種目の候補としてあげられ少し知名度が上がったようです。桐工でも少しずつ取り組んできました。平成24年度は、県国体予選で2名の生徒が同率1位となり、国体関東ブロック大会の群馬県代表選手に選ばれました。関東ブロックのレベルは高く、群馬県チームの成績は、7位(8都県中)であったが、内容としては手応えを感じさせるものもありました。

今後ともご支援の程よろしくお願いいたします。

少林寺拳法部

平成17年、4月に少林寺拳法愛好会としてスタート。平成21年に活動内容が評価され、部に昇格しました。現在は、部長兼監督の石井先生を中心に、3年生5名、2



年生4名、1年生7名と、顧問の堀川、田村、河田の計20名で活動しています。生徒の段位は、2段が4名、初段が4名、2級が2名、6級が6名です。5月の県総体では、1年生の男子が単独演武の部

で6位に入賞し、関東大会に出場しました。今年で8年連続の出場になります。来年からは、インターハイの正式種目となり、来年度の出場を目指して頑張っています。少林寺拳法では、武道として様々な護身の技法を稽古します。その一方で、稽古の中で人づくりのための教えを学びます。半ばは自分の幸せを、半ばは人の幸せを考えて行動できる人間に生徒が育ってくれるように、一緒に頑張りたいと思います。



女子バスケットボール部

女子バスケットボール部は現在、2年生2名、1年生5名で活動しています。平成14年に生徒自身が立ち上げた部活ということもあり、部としての方針や練習メニューは主に生徒が自ら考え、実践しています。そのため、生徒同士の意見の衝突も多々ありますが、話し合いで解決するたびに絆の深まりを感じています。

今年度の参加大会の成績については、高校総体・インターハイ予選ともに1回戦敗退という結果で

でした。まずは1回戦突破をめざしこれからも練習に励みます。

最後に同窓会様からのご支援により、新しいユニフォームを購入できました。この紙面をお借りして心よりお礼申し上げます。今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。



全日制陸上競技部

新たに6名の1年生を迎え、今年度のスタートを切りました。高校総体では、電気科3年の坂本峻君が110m障害走準決勝に進出しましたが、全般的に振るいませんでした。

春季陸上では、2年生の田沼京君をはじめ、長距離陣の活躍が目覚しかっただけに、残念な結果でした。

しかし、夏の国体予選記録会では、男子800m走で新部長となった田沼君が総合9位、そして少年B男子3000m走では、1年生の山口龍也君が総合8位となつたほか、1



と多くの方から喜びや励ましの声をいただきました。秋の学校対抗、そして高校駅伝に向け、陸上競技伝統校の復活を胸に頑張ります。皆様の熱き応援を宜しくお願い致します。

ロボット研究部

本部活は、ロボット相撲を中心に活動しています。この競技は、2台のロボット力士が直径15mの鉄板土俵で戦い、相手を押し出せば勝ちというシンプルなものです。

この競技で全日本ロボット相撲全国大会へ2012年まで、3年連続4度目の出場を果たしました。



その出場に当たり、足利工業大学の技術支援をはじめ、同窓会の心温まる支援を3年連続で頂き、物心両面に渡る協力のもと、最強ロボット力士の完成に至りました。この場をお借りして改めて御礼申し上げます。最後に、生徒の「生きる力」に起因する「確かな学力」の育成を図り、グローバル社会で活躍できる人づくりを目標に、これから活動してまいります。

事務局だより

同窓会表彰者(叙勲・褒章及び国の表彰を受賞された者) 周東英次氏31W(経産大臣表彰)

- 藤生英行氏44M(厚労大臣表彰)
- 後藤隆造氏31W(旭日双光章)
- 田村永昌氏29W(瑞宝単光章)
- 下山昌利氏29D(瑞宝双光章)
- 大澤利男氏28W(瑞宝単光章)
- 松浦 清氏27M(瑞宝単光章)

同窓会功労者

- 山口多賀司氏23D(関西副支部長)
- 宮根賢毅氏(関西支部事務局長)
- 星野昭治氏32W(常幹・逝去)
- 徳永達郎氏25D(第1支部長・逝去)

- 田村泰信氏34D(常任幹事)
- 堤 俊隆氏35E(第7支部長)
- 蛭間章雄氏32W(中部支部長)
- 遠山忠一氏41E2(加藤鉄工支部)
- 小暮隆之氏(前事務局長・高女)
- 藤平光宏H5M1(前工へ)
- 根岸俊行(建設・係退任)
- 新井 博(新事務局)

同窓会入会式

昨年同様に、全日制は卒業式前日、定時制は卒業式終了後に、各クラスの代表幹事と幹事に同窓会長から委嘱状が手渡されました。214名が新会員になりました。

編集後記

本年度も多くのの方々のご協力をいただき、桐雷25号を発行することが出来ました。来年度は、開校80周年の記念すべき年ですので、さらに充実した「桐雷」にしたいと考えています。ご協力の程よろしくお願いいたします。